

その他資源のリサイクル事業

事業内容

- 一般廃棄物の収集運搬、廃プラスチック等の産業廃棄物の収集運搬・処分、古紙段ボール回収、廃食油の利活用、バイオディーゼル燃料の製造販売

2023年度の振り返り

- 廃プラスチック等の産業廃棄物処理を行う工場で保全工事のために一次受け入れを停止したものの、古紙・ペットボトルリサイクルや宮繕請負事業など他の事業が底堅く推移した
- バイオディーゼル燃料製造は原料となる廃食油の獲得不足と製品出荷先の開拓不足のため生産量が計画を下回った

基本戦略

- 省エネ、省資源活動に務め再生処理事業者としてリサイクルによる省資源、廃棄物減量化、大気汚染防止、地球温暖化防止に貢献する
- 廃食油獲得チャンネルの多様化とバイオディーゼル燃料製造量拡大を図り、SAF利用とは別枠でのCO₂削減を推進する

市場環境

- プラスチック資源循環法等による廃プラリサイクルニーズの拡大
- 古紙市場の縮小
- SAF製造施設の増加、バイオディーゼル燃料の用途開発による販路拡大

	プラス要因	マイナス要因
内部要因	S trength (強み) <ul style="list-style-type: none"> ● ダイセキグループ連携によるシナジー効果 ● 総合小売業者と収集運搬、処理の連携 ● 製品の品質管理 	W eakness (弱み) <ul style="list-style-type: none"> ● 廃プラスチック処理能力の限界による事業規模を拡大する機会の喪失 ● ドライバー不足による運搬業務継続の難しさ
	O pportunity (機会) <ul style="list-style-type: none"> ● プラスチック資源循環法等による廃プラリサイクルニーズの拡大 ● 企業のCO₂削減を目的とした燃料転換の推進 	T hreat (脅威) <ul style="list-style-type: none"> ● ICT化による紙不使用による古紙市場の縮小 ● 人口減少による一般廃棄物排出量及び収集運搬量の減少 ● 台頭するSAF陣営による廃食油の獲得拡大
外部要因		

今後の成長戦略

- 廃プラスチック等の産廃処理工場の処理能力アップを目的に、破砕機・圧縮機の増設を検討。収集運搬ではドライバー不足の対応として、協力会社と回収ルートの集約・変更を協議し効率化を目指す
- 良質なバイオディーゼル燃料の製造販売量を増加させ、既存の内燃機関を活用することで企業のCO₂削減に貢献する